

生活福祉資金(教育支援資金)のご利用例の紹介

借入希望者 A さん

5人世帯

・父(Aさん50歳)年収 350 万円

・母(46歳)年収 100 万円

・長女(18歳/高校3年生)来年度から県外私立大学(文系)に進学希望

・長男(15歳/中学3年生)来年度から自宅通学可能な公立高校に進学希望

・次男(11歳/小学5年生)

長崎県内在住、マイホーム入居中



A家は、夫婦と長女(高3)・長男(中3)・次男(小5)の5人家族。

Aさんの年収は350万円、妻もパートで年間100万円の収入を得ていますが、長女は県外私立大学(文系)を志望しており、長女の学費やアパート代、生活費などの資金として、日本学生支援機構奨学金を利用してもなお不足するため、市社会福祉協議会に教育支援資金の借入相談をして資金計画を立てました。

長女の県外私立大学(文系)就学4年間にかかる費用合計 1,053 万円

資金(借入)計画

教育支援資金 支度費 500,000 円

教育支援資金 支援費 3,600,000 円(75,000 円×48 カ月)※増額申請

日本学生支援機構奨学金(第一種) 3,072,000 円(64,000 円×48 カ月)

自己資金 3,360,000 円 [アルバイト 40,000 円×48 カ月
仕送り 30,000 円×48 カ月]

返済(償還)計画 毎月約 29,800 円(20 年間)

教育支援資金の返済(償還) 大学卒業して 6 カ月後から 毎月 17,000 円(20 年間)

日本学生支援機構奨学金(第一種)の返済(償還) 毎月 12,800 円(20 年間)

※本内容はモデルケースをもとに作成しており、実際の金額とは異なる場合がございます。